



第2回指名強化講習会が開催されます

8月26日(土)・27日(日)に行われる天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 静岡県代表決定戦を使って第2回指名強化講習会が行われます。第1回講習会との総合評価にて第3回に進める12名が決まる大切な講習会です。講習生はこの日のために自分の映像を見たり、メカを勉強したりと準備をしております。26日(土)の夜には講習生の希望者だけですがその日のゲーム映像を使った研修会を行い、ケースの追求・分解・修正を行い次につなげています。

【テーマ】インテンシティコントロール(クリーンザゲームにつなげる) ※講習生に送ったメールの抜粋

インテンシティコントロールとはゲームの中で感情の変化を伴うプレーやラフなプレーをしっかりとレフェリーして判定を下すことでゲームをコントロールすることです。

特に今回の様な大会は、社会人・大学生・高校生のカテゴリーが異なるゲームで普段のゲームよりも格段にコントロールが難しくなります。今までスムーズに進んでいたのに1つのプレイによって感情が高まりやり返したり、粗暴なプレーになったりすることが見られます。シンプルなプレイコーリングの積み重ねが大前提ですが、それだけではない「何か」を感じ、「何か」を施さなければいけないというケースが稀に出てきます。

レフリー中、違和感を感じたコンタクトの後は、プレイヤーの顔や目つき、発言はどういった雰囲気なのか感じ取ることが大切で、インテンシティが高まっているかどうかなど情報を得ていきます。また、片方のプレイヤーだけではなく、当該プレイヤー両者とどちらが仕掛けているか、ここも判断の中では重要なポイントとなっていきます。

ケースを判定していくなかで、そのプロセスや経緯を把握しておくことで、平等にフィットする判定につなげていくことがクリーンザゲームを目指すうえでは必要不可欠な要素となりますのでトライしてみてください。

W杯を静岡から盛り上げよう！！



8月25日(金)より沖縄をはじめ、6都市6会場で行われるFIBAバスケットボール・ワールドカップが開催されます。静岡県民が会場に見に行くというのは難しいですが、離れていても心は一つ！TVの前などで一丸となって応援しましょう！審判関係の話をする、レフリーとして加藤誉樹さん、漆間大吾さんの2名、FIBAインストラクターとして上田篤拓さん(静岡県)1名が派遣されます。日本としても、静岡県としてもとても喜ばしいことですので3名の活躍を祈念しております。頑張れニッポン！！

【日本の対戦とテレビ放映】

日にち	時間	対戦	テレビ系列
8月25日(金)	21時～	VSドイツ	日本テレビ系 ※生中継
8月27日(日)	21時～	VSフィンランド	テレビ朝日系 ※生中継
8月29日(火)	19時45分～	VSオーストラリア	テレビ朝日系 ※生中継

【代表メンバー】※8月14日時点



NO	名前	ポジション	身長	所属クラブ
2	富樫 勇樹	PG	167	千葉ジェッツ
5	河村 勇輝	PG	172	横浜ビー・コルセアーズ
6	比江島 慎	SG	191	宇都宮ブレッス
12	渡邊 雄太	SF	206	フェニックス・サンズ(NBA)
18	馬場 雄大	SG	195	-
19	西田 優大	SG	190	シーホース三河
24	ジョシュ・ホーキンソン	C/PF	208	サンロッカーズ渋谷
30	富永 啓生	SG	188	ネブラスカ大学
31	原 修太	SF	187	千葉ジェッツ
75	井上 宗一郎	PF	201	越谷アルファーズ
91	吉井 裕徳	SF	196	アルバルク東京
99	川真田 純也	C	204	滋賀レイクス





インターハイ活動報告記 報告者:佐原佳世(A級 U-18)

○対戦カード・割り当て

日にち	チーム	vs	チーム	CC	U1	U2
7月25日	佐賀清和 (佐賀県)	vs	奈良文化 (奈良県)	梅田香 (福井県)	佐原佳世 (静岡県)	金山努 (北海道)
7月26日	大阪桐蔭 (大阪府)	vs	県立広島皆実 (広島県)	古畑香子 (本部)	大坪綾音 (千葉県)	佐原佳世 (静岡県)
7月27日	土浦日大 (茨城県)	vs	札幌山の手 (北海道)	大庭英裕 (神奈川県)	佐原佳世 (静岡県)	前田周二 (愛媛県)

○全国大会を経験してきたの総評

・今回のインターハイより全体での研修会が復活し、大会開催前に研修を受けたことで、審判員全員が共通意識・理解のもと、大会へ参加することができたと感じた。
インターハイの開催地である北海道のチームを吹かせていただき、異様な雰囲気の中で試合を担当した。緊迫した雰囲気に押し潰されそうであったが、CCメンタリティーを磨く機会となった。

・「コール・ザ・オヴィアス～3POメカニクスの実践から～」というテーマ設定を受けて、正しい方向にゲームを進めていくためには、どうしなければいけないか、再確認することができた。正しい判定を積み上げていくために、ルールやメカニクスの理解はもちろんだが、発見したプレイを分析し、決断に結びつけられるように、長くプレイを捉えていきたい。

○今まで意識して活動してきた成果

・「クルーワーク」を大事にすること。
様々な場面でクルーワークを発揮することに繋がった。
例えば、コーチやプレイヤーとコミュニケーションを求められる場面で、クルーで判定し、クルーで出した答えであるという意識のもとで、コーチやプレイヤーとコミュニケーションを計ることができた。
クルー間においても、たくさんの情報を共有することができた。



○今回参加しての課題

・正しい判定をするための位置取り
CやLで、ポジションアジャストを追求し、マージナルカイルーガルかを見極め、判定の精度を上げていくこと。

○現地の様子、雰囲気など

・講師の方から、昨年度からの変化やアドバイスをいただき、技術面だけでなく、モチベーションアップに繋がる場であった。

研修生ともたくさん交流を図る場があり、みんなで大会を支え、盛り上げようという意識が持てた。コート上で必死にボールを追う高校生、応援席でコート上のプレイヤーに声援を送る高校生、TOとしてゲームの運営に携わっている高校生から、たくさんパワーをもらうことができた。

それぞれの立場で大会を運営していることを目の当たりにし、このインターハイという大会にレフリーとして携わることができて本当に良かった。

また、東海ブロックの皆さんとも交流を深める場となり、北海道グルメも堪能することができた！

